

特集1 環境重点地区



緑豊かな金華山

○人々の生活に身近な自然

金華山は、岐阜市の中央部に位置する標高 329m の山で、山頂には岐阜城がそびえます。

市街地に隣接するように森林が発達しており、都市部にありながらも、豊かな自然が残る稀有な山です。

長良川と金華山から構成されるまちなみは、「長良川中流域における岐阜の文化的景観」として、国の重要文化的景観に選定されています(平成26(2014)年選定)。

また、金華山は、長良川と並ぶ岐阜市のシンボリックな存在として親しまれ、市民の憩いの場となっています。ロープウエーのほか、10 の登山道が整備されており、それぞれのレベルに合わせて登山を楽しみながら、豊かな自然とふれあうことができます。



登山の様子



頂上からの眺め

○チャートが示す歴史

金華山は、山全体がチャートという固い岩石でできています。

チャートには、大昔に絶滅した放散虫という目には見えない生物の遺骸が閉じ込められており、この放散虫を調べることで、いつの時代につくられたチャートなのかが分かります。

金華山のチャートは、約 2 億 6,000 万年～約 2 億 3,000 万年前にできたとされています。



金華山のチャート

○金華山に生育する植物

金華山は、天然林が9割以上を占めており、中でも、ツブラジイやアラカシなどの自然度の高い照葉樹林が広く発達しています。

「岐阜市の木」に指定されているツブラジイは、5月から6月頃に黄色い花を咲かせ、山全体が黄金色に見えたことから、山の名前の由来となったともいわれています。

また、金華山にはヒトツバをはじめとする約100種類のシダ植物が生えています。「めい想の小径」では、ヒトツバの他にもシランやヌトヲノオ、マメツタなど多くのシダ植物を見ることができます。



ツブラジイの花



アベマキ



アベマキドングリ



ヒトツバ

○金華山の生きもの

自然あふれる金華山には、野生動物や野鳥が数多く生息しています。

リス村で飼育されているクリハラリス(台湾リス)は、山の中でも見ることができますが、飼育個体が野口化したと考えられる外来種です。

野鳥では、メジロやヤマガラなどは一年中見ることができます。オオルリやキビタキは、夏に見ることができます。特に春と秋は渡りの時期なので、普段なかなか出会うことができない鳥を発見することもあります。



クリハラリス(台湾リス)



オオルリ



ヤマガラ



キビタキ

撮影 大塚之稔氏

○金華山サポーターズの保全活動

平成15（2003）年に開催された「金華山市民フォーラム」の宣言に基づき、同年に団体が発足しました。以来約20年にわたり、“市民の手でできること”を企画・実施しながら、金華山の保全活動に取り組んでいます。

主な活動は、登山道の補修や自然環境の保全などの「保全・保護活動」、マナー啓発や登山・散策マップの企画などの「啓発・案内活動」、自然観察会や環境学習会、児童・生徒の学習支援の実施、現地の調査などの「学習・調査活動」です。

登山者や観光客へのマナー啓発の一環として、「金華山を楽しむあなたへ」という看板を、金華山の登山道に複数設置し、自然の保全やごみの持ち帰りなどを呼び掛けています。

また、岐阜市が実施する出前講座や小・中学校の総合学習などに協力し、金華山の植生や動物、地層や成り立ちについて子どもたちに教えたり、実際に山に登りながら説明し、体験してもらうことで、金華山の自然の壮大さや大切さを伝えています。



環境学習会の様子